

たわわ

# TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2002年5月28日

23号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991

## 2館目のグループホームをめざそう!!



### 組織の整備・強化で活動の広がりを



あたりの緑も色濃くなり、少し動くと汗ばむような季節になりました。さわやかながら、何かと忙しい季節でもあります。皆さんお元気ですか。

夏 空 日

メンバーの通っている活動ホームでも、地域交流バザーがあり、支える会からも家族会の他、4人の会員の方に当日スタッフとして応援を頂きました。この事業が済んで、ようやく本来の活動に入っていける感じです。

今年度の「支える会総会」は、6月下旬か7月の初旬に行われる予定で日程の調整中ですが、議題は活動報告、活動計画案、会計決算・監査報告、予算案など。

活動計画案は、次のとおりです。

#### 1. グループホーム2館目に向けての準備

\*緊急を要する課題となります。1館目の経験はありますが、メンバーの一人一人に合わせたものが需要ですので、初から丁寧に取り組んでいかねばなりません。

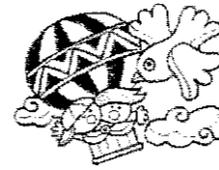
(メンバーの絞り込み。建設地・建設業者の決定。各機関との連携。職員の雇用。諸規約・マニュアルの検討。設計の検討。併せてメンバーの体験も行っていきます。)

#### 2. 特定非営利活動法人(N.P.O)申請の検討

\*これまでの活動は、障害者の親が推進力となっていましたが、もう少し社会性のある団体へ自然に移行させ、今後の活動を安定かつ継続性のあるものにする必要があります。(学習会。定款などの審議。組織の整備。設立総会。)

#### 3. 「たわわ」の発行、懇談会、資金作りなどについて

日程がまだお知らせできずに申し訳ありませんが、会員には追ってご通知いたします。賛助会員でご参加ご希望の方は、遠慮なくお申し出ください。お待ちしております!



## 希望の光を

あれはもう何年前のドラマだったのでしょか!『希望の光を』第1弾の演出に携わったのは?遠い日のことの様であり昨年のことの様であり真実は、忘れてしまった。

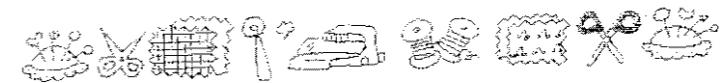
あの時点では、脚本もキャストも悪くなかったはずなのに、ロングランの作品とはならなかった。

そこで、懲りない演出マニアとして『希望の光を』第2弾目提案(光は、ピカチュウに直しても、もめません)

港北区を中心とするグループホームの情報交換と職員の心のケアを目的に☆癒しクラブ「情報交換室」……別名(バーミアンでも可)を立ち上げたいと希望しています。

メンバー(入居者)が主役の議員様なら、職員は、秘書でもありサポーターでもあり、一心同体の重要な役割を担っています。だからこそ精神的・肉体的疲労を癒す可能性がある『情報交換室』が必要と感じています。

と、言いながら5年も過ぎてしまいました。後5年も待てないナア〜と思う今日この頃です。(関野 茂喜)



## 「しもだ」のバザー「福祉コーナー」に参加して

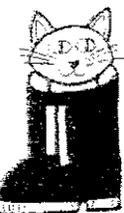
この所お天気が定まらず心配しましたが、当日はまず☆の空模様で安心いたしました。よつばの男性のボラさんの手を借りてお店開き(支える会)

本日の手助けをして下さる方、鈴江さんのお嬢さんで毎年来て下さっている方なので全部おまかせでお願ひしております。何時も本当に有り難う御座います。時間が経過する内に温度も上がり日差しも強くなって「のみ物」等が出るようになると赤飯、つけ物が売れて来て、お店が賑賑に廻り出しました。

ふと前の方を見ると始めの頃若者が2人ばかり立って話しておりましたが、すぐに人数がたくさんにふえて賑やかに、通行の人たちの邪魔にならない様にしてにこやかに話し合っておりました。

下田の方々にとってバザーに出掛ければ知人、友人に会える場所と言う事でしょうか……。とてもよい風景でした。

私も調子があまりよくなかったのですが、無事に今年もバザーに参加出来て良かったと思っております。皆様の御協力有り難う御座いました。(福田 定子)





の

声

大原友子

テレビなどで障害者を紹介した番組を見ると、いつも「みんなすごいな」と思いますね!

皆さんも見たかも知れませんが、この前NHKで、11才の重度の天才障害児の番組を見ました。

この事は、他の人たちも見ていて、今ちょっとした話題になっています。その子供は文字盤で話します。

お母さんが子供の手と文字盤を両方一緒に動かして、お父さんと3人で詩を作ったり、大人のように話をしたりしていました。

でもその速さはとても速く、その間中障害の子は顔をあちこち向けていて、文字盤も見ないし、集中していません。

お母さんが自分でポインティングしているように見えました。

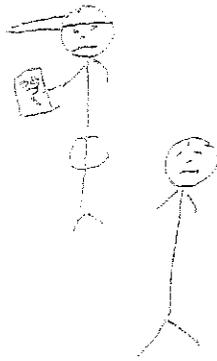
私は文をかくのに、とてもたくさんの時間がかかるので、あのテレビのことが本当だとしたら「いいなー」と思うけれど、ちょっと「本当なのかなー」とも思って見ていました。

1日、24時間しかないのに寝たり、食べたり、訓練をしたり、私たち障害者は、身のまわりの事をするのも時間がかかります。ずっと本を見る時間なんてあるのかしら、テレビで言っていたように、たった11才になるまでに2000冊もむずかしい本を読むことは出来ないのではないかなと思いました。

ちょっとウソみたいだなと思いました。

だから、ぜったいなさそうなのにあるから「きせき」とテレビで言っているのだと思うけど、頭の中のどの辺にそれができる所があるのかふしぎです。

もし事実なら、私もよつばの友だちも「ほんとにうらやましいね!!」



# 今月のよつばホーム

今月は、よつばホームの新人の職員を紹介いたします。今年の3月に大学を卒業したばかり、絵を描くのが上手な23歳の男性です。

初めまして、今年の5月からよつばホームの非常勤で入りました。柳生 真沙満(やぎゅう まさみ)です。3月までは、埼玉県の立正大学の社会福祉学部で勉強をしていました。

大学での実習先が特別養護老人ホームでしたので、グループホームでの生活がとても新鮮で楽しいです。食事をするのも、入浴も、睡眠も、生活を一緒にする暖かさが気持ち良いと感じています。最近では名前を覚えてもらい、頼まれ事をされるようにもなり、「柳生くん」と呼ばれるのが嬉しくて仕方がないのです。

職員の方々の細かい心配りには、学ぶことがたくさんありまして、まだまだ気持ちが張り続けている毎日ですが、自然と同じように動けるようこれからも頑張ります。よろしくお願いします。

※男性職員が増え、理想とする職員体制に1歩ずつですが近づいてきました。まだグループホームの生活に完全には慣れていない入居者の方もいますが、これからも安定した生活援助が出来るように心がけていきたいと思っています。

よつばホーム職員一同

ご入会、ご継続 ありがとうございます

[敬称略]

## 会員の一言

遅くなって申し訳ありません。近いうちに「よつば」のほうへ寄らせていただきます。 西脇 久夫

### 《会員》

富岡 久子 山田 キチ 鈴江 美博 阿部八重子 竹生真喜子  
石瀬 有治

### 《賛助会員団体》

サンヴァリエ日吉ボランティア会  
港北区肢体不自由児者父母の会

\*郵便局の取り扱いによって一部通知が遅れる事があります。ご了承ください。

### 《賛助会員》

鈴木喜三枝	不動 寿江	川島 茂隆	川島 仁子	青柳 妙子
菅井とし子	清宮 一恵	阿部 太二	阿部 エミ	白川田倫代
井上 禮子	竹生 義行	吉田 隆	松永真奈美	斉田 弘子
岩永美智彦	山下 廣八	山下 静子	門屋 佳子	西脇 久夫
中村孝太郎	赤瀬 福子	馬場 健夫	馬場 綾子	笠井満喜子
金子留美子	出村 早苗	中村 立眼	戸川嘉壽子	戸川 慶建
大澤富美子	戸川 英丈	高安 克典	田辺 和男	門脇 知子
有馬 成子	藤田 慎一	松本 直子		

「よつばホーム」も順調に展開しているようで嬉しいです。生活の場なので、ゆったりした日常が流れている事が大切なのではないでしょうか。今度見に行きま〜す。 鶴見養護学校 石瀬有治

